

## 入居企業紹介 その82

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 310  
株式会社 ベリフォア

### 「LSI 設計評価で実のあるコンサルタントを目指す」



#### 【代表プロフィール】

株式会社ベリフォア  
代表取締役 松岡 正 (まつおか ただし) 50才  
大阪市生まれ 八王子市在住

外で体を動かすことが大好きで、数年前までサッカーやフットサル、ゴルフなどを楽しんでいました。山登りや写真撮影も趣味のひとつでしたが、最近はなかなか時間がとれず、移動中の新幹線で車窓から眺めるだけになってしまっているとか。関西に生まれ、関西をこよなく愛しています。

#### 【起業しようと思ったきっかけは？】

大学では機械工学を専攻し、事務機器の会社に就職。機械設計に携わると思い込んでいました。しかし、電子技術者の育成が必要とされていた時期と重なったため、入社と同時に予想外のエレクトロニクス開発分野へ配属。工場設備や装置の自動化を設計・開発しました。プログラミングからハードウェアの構築、運用までを試行錯誤する中で、電子分野の可能性・面白さに目覚めていきました。

その後、半導体専門の外資系企業に転職。アメリカやイギリスを行き来し、衛星放送用LSIやスーパーコンピュータに関わった後、半導体の新規事業を始めた関西の企業に再度転職。新しいプロセッサを独自に開発・設計する一方、動作検証も研究課題として取り組みました。大規模なシステムを作る際、設計は積み重ねてできますが、正常に動くかどうかの検証はとても重要で難しいことです。研究を知ったアメリカ半導体企業の反応は強く、半導体の検証という分野の事業性に確信を持ち、起業に向けて踏み出しました。

#### 【事業紹介】

開発の終了したLSIが仕様書通りに動作するか、検証する事業を行っています。

従来、LSIを設計した大手企業では、社内に検証者を抱え検証作業を行っていました。また、外部に委託をする場合でも、どのような検証を行うか指示書を用意する必要がありました。しかし、大勢のエンジニアが関与し、部分的設計を組み合わせで統合する現代のLSI設計は、全体の最適化に問題があり、検証作業は難易度を高めています。また、不完全なまま製造されたLSIの再設計に要する時間と費用は膨大な損失となります。

そこでベリフォアは、第三者の視点から検証を行うことで、漏れのない検証を提供します。これまでの案件で完全な設計であったLSIは皆無と言います。「効率よく、隙間なく検証できる方法・内容」を顧客に提案し実績を出すことで、顧客からは高い評価を得て、100%のリピート率となっているそうです。

#### 【課題となっていること、苦労していること】

同社では、仕様書から個々のプログラムまで、全体を見渡すことのできるスキルが必要です。そのため、採用できる人材がなかなか見つからず、人員の確保は起業当初からの課題となっています。しかしその分、「現在のエンジニアたちは宝」と、松岡社長は言い切ります。現に、これまで離職者はいないとのこと。経営理念の中でも謳っていますが、社員には尊敬をもって接し、風通しのよい職場を心がけているそうです。

#### 【これからの夢または目標は？】

会社を大きくすることはもちろんですが、社員一人ひとりが自立した人間になることを目指しています。そうなることで「1+1=2」ではなく「1+1=3以上」の成果を上げていくことができます。「当社ですっと働いてくれてもいいし、独立してくれてもいい。それを目指すことで会社も社員も成長していくことができる」と松岡社長は熱く語りました。



株式会社ベリフォア  
SIC-1 310  
TEL:042-770-9250  
URL:www.verifore.jp



# 入居企業トピックス

## ●今月の掲載記事紹介

6・7月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1 と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

- 6月29日(水) **アイフォーコム株式会社**  
日本経済新聞 「大船渡市に社員派遣 救援物資データ入力支援」
- 7月18日(月) **株式会社キャロットシステムズ**  
神奈川新聞 「壁を超えた簡単据え付けの防犯カメラ」
- 20日(水) **有限会社コウチャ**  
相模経済新聞 「リーマン機に地元密着型の事業展開。産業活性の一翼担う」

## 入居企業の皆様へご案内

### 8月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ **Sky Days** <http://skydays.net>



パン・飲み物ともに  
なくなり次第終了です。

3日(水)  
26日(金)

営業時間 11:30 ~ 16:00

かわせみの家 <http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



8月はお休みです。

ベーグルショップ **米来** <http://www.bgr-shop.jp/>



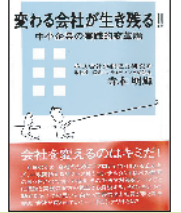
7月で販売終了しました

# SICからのお知らせ

## SIC 書籍販売のお知らせ

### 『変わる会社が行き残る!!~中小企業の実践的変革論~』

SIC 経営塾でコーディネータを務めていただいている、寺本明輝氏が本を出版されました。出版を記念して、SIC でも販売いたします。書店よりお買い得な価格となっておりますので、ぜひこの機会にお買い求め下さい。



- 特別販売価格：1,500円 → **1,350円**
- ◆販売場所：SIC-2 受付
- 問合せ先：SIC-2 事務局

## SIC 夏まつり 開催延期のお知らせ

先月号でご案内した夏まつりですが、会場設営等の事情により、下記日時に延期となりました。

**9月1日(木) 17時~19時 SIC-2 駐車場**

詳細は追ってご連絡いたします。皆様のご参加、お待ちしております。

## ご報告

### 着物でボランティア 「和の心」で東北地方復興支援 について

うちわを被災地に贈るボランティア活動のため、SIC-2 ロビーにてうちわ集めを行ってまいりました。

寄付して頂いたうちわは、着物サークル「Kimono Club はちさがまち」(齋藤 優見 代表)を通じ、一つひとつに折り紙などで装飾を施し、再生して送られます。ご協力頂き、ありがとうございました。



# 2011年 8月

【今月の経営スケジュール (3月期決算の会社参考)】

経理：7月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成



「Sky days」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
31	1 会議室 10月分 予約受付開始	2	3 リーダー塾	4	5 ジュニアアントレ	6 第72回かわさき 起業家オーディション ジュニアアントレ
7	8 ジュニアアントレ SIC-1 エレベーター点検	9	10 ジュニアアントレ	11 ジュニアアントレ	12	13
14	15	16	17 子どもアントレ	18	19 子どもアントレ	20 合宿 8/19~
21 8/21	22	23 リーダー塾 SIC-2 害虫防除	24	25	26	27
28	29	30	31	1 会議室 11月分 予約受付開始 SIC 夏祭り	2	3

SIC の WEB サイトでもご覧頂けます。



## 「どうしたいのか」を明らかに

台湾・工業技術研究院（ITRI）との協定調印を終えて

2011年7月19日（火）台湾・工業技術研究院（ITRI）台北事務所にて、ITRIとSICとの間で、「合作協議書」調印式が行われた。SICかわらばん（地域版）13号（2011.6.24発行）にて、ご報告の「SIC台湾ビジネスマッチング事業」が更に進化し、「次のステージへのスタートが出来た。」と考えている。

さて、今回の調印式前後に、台湾・ITRIの産業サービスセンター・林意雀 主任室特別補佐をはじめとして、SICや日本企業をサポートしていただいているスタッフの皆さんとの意見交換があった。そこで、ビジネス・パートナーとして、貴重な意見があった。「日本企業が台湾に進出したいとの話は多数ある。展示会出展など積極的な企業も多数いる。」「しかし、それで、目的はなに? どうしたいの? 明確に、回答できる企業は多くない。」「台湾で、何の目的のために、何をしたいのか、どうして欲しいのか、どうなりたいたいのかを示してくれると活動しやすい。」

その通りだと思った。海外に出れば、すべての問題が解決され、ビジネスが成功する訳ではない。そのビジネスの「目的は何か」。その目的のために、「どうするのか」「どうしたいのか」を問われた。たとえば、「何のため」という企業の目的があり、販路拡大、技術供与、共同研究、技術提携、M&A、資材調達、生産委託などの手段・方法を検討・追及する。・・・とにかく、具体的な目的「何のために」と「どうしたいのか」が必要だ。

そのような考え方であるならば、もう一度自社のことを見つめ直すことが求められる。現状認識をする。3年～5年のありたい姿をイメージする。もう少し掘り下げて自社の強みをどのような領域で、どのように展開するかを決める。強みと機会を



## わたしの居場所

SIC社長就任前、昨年5月に「最高の居場所コミュニティ」のワークショップに参加する機会があった。ここで、『あなたが自分らしく、生き活きとられる場所＝「最高の居場所」が、「会社」「職場」「組織」のなかにありますか?』と、問い掛けられた。その時、私は、「無いことはないが・・・」と全肯定が出来なかった。そして、6月SIC社長就任。分ったことがいくつもある。社長に成ってみないと分からない事がある。（全部は教えられない。）

そこで、再度、私の「居場所」を自身に問いかける。すべての環境が変わり、「机」と「椅子」があっても、「居場所」とは呼びにくい。時間が必要だ。「自分らしく、生き活きとられる」場所は、どこだ・・・。そこは、安心、休息の「場」? リフレッシュの「場」? 他者から認知され、評価される「場」? 「自己実現」の「場」?・・・。直ぐに手に入れられるものでも無さそう。

どうやら、「自分らしく、生き活きとられる」場所には、①自分で自ら努力して作る「居場所」②周りの人に合わせながら作る「居場所」③周りの人が作ってくれる「居場所」などがある。一つでは無さそう。

再認識する。「やりたいこと」が明確になる。戦略をつくる。実行する。この準備は、必須だ。ビジネスを成功させるには、相応の覚悟と準備が必要である。

話を変える。3.11. 東日本大震災が発生した。その後、世界の各国から、日本に対して、多様な支援を頂いている。本当にありがたいことだ。感謝しなければならない。この中で、台湾の皆さんから、総額200億円を超える支援を頂いているとの報道があった。世界の中でダントツ1位。台湾は、本当に日本への思いを持っている国である。パートナーとして、認識してくれている。そのような親日派の多い台湾だから、今回の協定を結ぶことが出来たのではないと思う。偶然だけではなかったと思う。ここで、ITRIの董事長 蔡清彦氏のコメントをご紹介します。「SICとITRIの合作協議書の締結は、日本企業の技術と台湾の生産管理の優位性を結びつける新しいモデルになるでしょう。台湾の経済発展力を基にしながら、中国マーケットを開拓し兩岸ECFA時代の『台湾、日本、中国の新しい黄金の三角形モデル』を開きましょう。」今回の協定には、とても期待を寄せている。さらに、Win-Winを強調してくれている。

ビジネスのスピードは、どんどん速まっている。新興国の勢いは、さらに加速するでしょう。わが国が、成長をしなければ、自らの将来はない。企業も成長がなければ、自らの未来はない。この時期に、「わが社は何者か」を再認識し、再定義することが求められているように思う。そして、「独自能力」を明らかにし、「機会」を生かす取組が、私たちの成功を担保してくれるはずである。基本は、国内ビジネスも同じ。SICは、「SIC台湾ビジネスマッチング事業」だけでなく、新分野進出、新技術開発を目指している企業をずっとサポートしている。これからも、このサポートする姿勢は変わらない。

SICでは、「何のために」と「どうしたいのか」を明確にすることもサポートできる。海外進出・販路開拓、新分野・新技術へのチャレンジの「覚悟」が出来て、「準備」をされている方は、是非SICスタッフにご相談を・・・

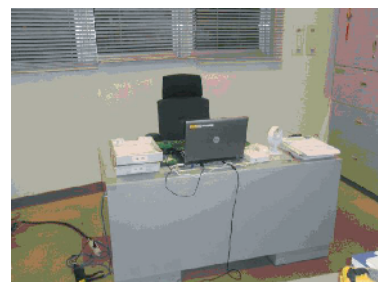
## どんな人ですか? SIC スタッフ編

今月のスタッフ【中嶋 隆】

ここで結論。SICスタッフの7月8月は、土日も含めて、多忙なスケジュール。「イライラ」「汗だく」「クタクタ」になり、「怒り」「愚痴り」ながらも、最後は「ニコニコ」して働いている。恐らくこの仕事が「好き」なんだと思う。

そうだとするとSICスタッフは、「自分らしく、生き活きとられる」場所＝「最高の居場所」を持っていることになる。1999年SIC設立から12年。それぞれ築き上げた「居場所」が「最高」になったのかも知れない。

私も、スタッフを見習い、入居企業・地域企業の為、努力、貢献するなかで、自分自身を高め、SICを「最高の居場所」にしたい。



# 証言で綴る SIC の歴史 ～ SIC 誕生と市産業振興施策の変化 ～

## 社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団 理事長 渡邊 亮

相模原市は日本有数の内陸工業都市として加工組立型産業を中心に工業集積を高めてきましたが、経済社会情勢変化の影響を受け1990年代半ば以降、工業を含む市内産業は停滞を余儀なくされてきていました。

### < 21世紀初頭に向けた産業振興ビジョンの策定 >

それまで相模原市では、工業、商業、農業の分野ごとに計画を策定し施策の推進をはかってきましたが、“従来の農業・工業・商業の枠にはとらえきれない産業の登場や、それに伴う産業間の連携及び都市計画・環境・文化等、幅広い分野との連携や調整が求められるなど、総合的・横断的な産業振興が必要とされる”との考えの下、平成7年4月に3分野を統合した新しい計画づくりに着手、平成8年3月には「豊かな生活文化を創生する産業を目指して」を将来像とし、①市民・消費者の立場に立った産業の振興、②未来に向けた提案能力のある産業の振興、③ネットワークを活用した産業の振興、④環境の保全・調和を考えた産業の振興、⑤進む国際化に対応した産業の振興を基本方針とする「さがみはら産業振興ビジョン」を策定しました。

### < 技術力と創造性を生かした工業の振興 >

このうち工業分野については「技術力と創造性を生かした工業の振興」をテーマに、①中核企業をめざした経営革新、②新技術を生かしたベンチャー企業の創出、③地域共生型工業への転換、④先端技術・研究開発ゾーンの形成の4つの柱を立てて施策を推進することが掲げられました。

### < ビジョン推進のための組織改編、産業振興課の新設 >

翌年の平成9年4月にはこのビジョンを推進するため庁内組織改編により産業振興課が新設され、私は初代の産業振興課長として課員と共に施策推進に当たることとなりました。

当時、工業、商業、農業の枠を超えて産業人が連携を図る「さがみはら経済人フォーラム」、広域多摩地域の産業活性化協議会への参加と連携による「産業情報センター機能の強化」、市内企業の海外展開支援のための「無錫市との経済交流」など、具体化に懸命になったことが思い出されます。

### < 産学共同研究開発支援施設整備構想 >

後にSICの形で結実することになった「産学共同研究開発

支援施設」は、「首都圏の内陸部における交通の結節点として、首都東京へのアクセスも良く市内を始め近隣には多くの研究開発機関や大学等の立地が見られ、未来志向の創造的な事業活動にチャレンジしていくのにふさわしい環境条件を備えている。今後、企業間、産業間、産学間のネットワークを活用することにより新しいライフスタイルの提案や新しい技術の提案等、常に前向きでチャレンジ精神あふれる産業活動の振興を図る」との考えのもと、産業集積活性化法の適用を受けた施設として構想されました。

### < 活発な議論を期待し、若手経営者中心に編成 >

1年間の準備期間を経て平成10年の4月には、「産学共同研究開発支援施設に関する検討会」を発足させましたが、メンバー編成に当たっては次のことを重点に進めることを構想しました。

- ・市の提案をそのまま追認するような会議にはしないこと、活発な議論が行われるよう進行に配慮すること
- ・産業界のメンバーと市の職員が相互理解を深める機会とし、近い将来、産業界、相模原市のそれぞれの代表として連携できるような礎を築くこと

幸い、産業界、庁内ともに理解をえることができ、「若手メンバーによる検討会」が編成され議論が開始されることになりました。その後の経緯については山本氏の記述どおりです。施設否定論も飛び出すなど予想以上に厳しく(ある意味では期待どおりに)活発に議論が行われ、実りの多い会議となりました。

### < 株式会社設立へ一新事業創出促進法の施行 >

検討会での議論が進められているさ中の平成10年12月に新事業創出法が施行され、「新事業創出を狙いとしたインキュベーション施設を整備する場合に、国は地域振興整備公団を通じて出資すること、出資の受け皿・運営主体として株式会社を設立すること」などを内容とする新たなスキームが経済産業省から示されることとなりました。

株式会社の設立など前例のない事柄で困難も多くありましたが、上記の検討会での議論の動向も踏まえ庁内で議論を重ねた結果、新法適用の方向へと舵を切ることになりました。

### < 略歴 >

平成9年4月から平成14年3月まで産業振興課長  
平成14年4月から平成15年3月まで経済部長

## 山本のめし屋レポート

SIC から車で30分、津久井の三ヶ木交差点近くにあるピッツァ専門店『ドリームファーム』を訪ねました。

オーナーは元パン職人。イタリアから取り寄せた石焼き窯で焼く香ばしくて軽い食感のピッツァが自慢。市街地から遠く離れた津久井青山の地で27年間、変わらぬ人気を誇る凄いお店です。

この日は知人と二人でランチメニューを注文。前菜、スープ、ピッツァマルゲリータ、デザート、紅茶で1,600円でした。イタリアに詳しいわけではないのですが、イタリアの小さな町のおいしいピッツァといった感じです。

お休みの日に家族や友人と訪れてはいかがですか。

■住所 〒252-0156 緑区青山 3126 ■TEL 042-784-0961 ■営業時間 11:00~15:00 17:00~21:30 ■URL [www.dreamfarm.net](http://www.dreamfarm.net)



## 編集後記

曇が多く、暑さの落ち着いた日が続いています。ただ、天気予報によると天気も回復し、暑さもぶり返してくる様です。8月6日は旧暦の七夕です。橋本では5日から7日まで七夕まつりが開催されます。夕涼みがてら、お祭りを楽しみ、星空を眺めてみてはいかがでしょうか。三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: [koho@sic-sagamihara.jp](mailto:koho@sic-sagamihara.jp)